



知エネルギーニュース

製油所の中で「カブトムシ捕かく大作戦」！

出光の愛知製油所が34年前に操業して以来たいせつに育ててきた緑地には、約350種類の生きものがすんでいます。その自然環境を活かし、子どもたちに生きものとのふれあいを経験してもらおうと、8月5日、「カブトムシ捕かく大作戦」を開催しました。

まず参加者は、カブトムシや環境問題についてのレクチャーを受けました。カブトムシがお酒を好むこと、輸入されたカブトムシが日本のカブトムシを滅ぼしてしまうおそれがあることなど、カブトムシを通して知る自然のしくみにみんな興味しんしんでした。

その後、グリーンベルトに移動して捕かく開始。事前にしかけておいたエサや木の根っこのまわりを探しはじめると、あちこちから「カブトムシ発見！」の声があがり、約90匹のカブトムシが見つかりました。作戦の最後には、捕まえたカブトムシをみんなで分けて、家で育てられるように寝床の作り方などを勉強しました。愛知製油所は、今後も緑地を活用した自然とのふれあいを企画する予定です。



捕かく会が行われたグリーンベルトと呼ばれる緑地帯。



地元の子どもや保護者のみなさん、41名が参加しました。



捕まえたカブトムシは約90匹。

【2009/9/24 公開（内容は公開時点のものです）】